

国指定史跡

国指定 昭和50年11月25日
追加指定 平成14年12月19日

諏訪原城跡

武田流築城術を駆使した壮大な山城

島田市教育委員会

城跡へのアクセス



交通案内

- ◆JR東海道本線ご利用の場合
JR東海道本線金谷駅下車 徒歩30分
- ◆車をご利用の場合
東名相良牧之原ICから20分
新東名島田金谷ICから12分
国1バイパス大代ICから10分



諏訪原城ビジターセンター(駐車場内)
休館日：月曜日、年末年始(12/29～1/3)、臨時休館日

問い合わせ

島田市教育委員会博物館課 文化財係

〒427-0037 静岡県島田市河原一丁目5番50号

TEL 0547-36-7967 FAX 0547-37-8900

ホームページ 島田市博物館 検索

諏訪原城関連の歴史

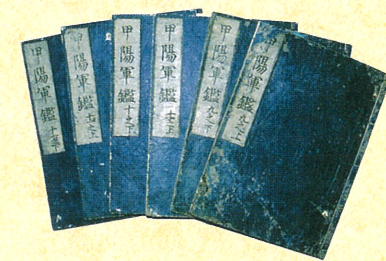
◆城の歴史◆

天正元年(1573)、武田勝頼は遠江侵襲の拠点とするために、家臣の馬場美濃守信春に命じて牧之原台地に城を築きました。

城内に諏訪大明神を祀ったことから、諏訪原城の名がついたと言われています。諏訪原城は、駿河から遠江に入る要衝の地にあり、高天神城(静岡県掛川市)攻略のための陣城として、攻略後は兵站基地としての役割を担いました。

天正3年(1575)、徳川家康によって攻め落とされたのち、牧野城と改名され、今川氏真や松平家忠らが城番になりました。『家忠日記』には、堀普請や堀普請などの度重なる改修が行われたことが記されています。

天正9年(1581)に、高天神城が落城し、翌年、武田氏が滅亡すると、この城の必要性は無くなりました。その後、徳川家康が関東に移ったことから、天正18年(1590)頃廃城になったと言われています。



甲陽軍鑑(万治2年(1659)版本)

島田市博物館所蔵

武田氏の戦略や戦術、築城方法などが記された軍学書。



出土品

丸碗(瀬戸・美濃産)や炭化米、古銭や鉄砲玉などが見つかっています。

年号	沿革
永禄 4年(1561)	第4回 川中島の戦い 山本勘助、討死。
永禄 12年(1569)	このころ、武田信玄が諏訪原城付近に砦を築いたとされる。
天正 元年(1573)	4月12日 信玄死去。 この年、武田勝頼により諏訪原城(または、諏訪の原城と呼ばれる)が築城される。
天正 3年(1575)	勝頼、長篠の戦い(愛知県新城市)で織田信長・徳川家康に敗北。 この時、馬場美濃守春房討死。同年8月24日に徳川家康が入城し、牧野城(または牧野之城)と改名する。
天正 4年～	天正4年から10年ごろにかけて、西側に大手曲輪が増設されるなど、度重なる改修が加えられた。『家忠日記』には、天正6年以降の堀や堀普請の記事が見られる。縄張の基本は、武田時代と変わっていないと思われる。
天正 9年(1581)	徳川家康が、高天神城(掛川市)を奪回する。
天正 10年(1582)	勝頼、子信勝とともに田野(甲州市)で自害。武田氏が滅亡する。
天正 18年(1590)	このころ、廃城になったと思われる。
昭和 29年(1954)	静岡県指定史跡となる。
昭和 50年(1975)	国指定史跡となる。
平成 14年(2002)	大手曲輪の一部を追加指定。(総指定面積 113,305㎡)



城の案内図



本曲輪から望む鳥田市街

内堀
出曲輪

堀 平坦地
土塁 見学路

上空から見た諏訪原城跡



二の曲輪虎口(出入口)の門の礎石
平成22年度



本曲輪虎口(出入口)の礎石

宝篋印塔ほうきやういんとうという石塔 中世のお墓の一部を門の礎石の根固めに使用しています。平成17年度

二の曲輪北馬出の門(復元)

発掘調査で確認された門の礎石から復元しました。門の形式は薬医門です。(平成28年度)



5 外堀

城内で一番大きい横堀です。



6 二の曲輪中馬出(三日月堀)

武田流築城術の特徴と言われている丸馬出です。



10 二の曲輪

遠くに甲斐の国を望む、広大な曲輪です。曲輪の中央部分には、現在も仕切土塁が残っています。



12 本曲輪

富士山、大井川を望む高台。城の背景は絶壁で「後ろ堅固の城」の教科書的立地です。



城の特徴

一、武田流築城術の典型の城

攻撃のために備えられた三日月堀と曲輪(平坦地)がセットになった大きな「丸馬出」が残っています。発掘調査により現在見ることで堀や曲輪は、徳川氏によって改修された可能性が大きいことがわかりました。

二、地形に守られた「後ろ堅固」の城

大手(表口)側は平坦ですが、本曲輪東側が断崖絶壁で、当時、城の眼下を大井川が流れる自然地形によって守られていました。

三、縄張の傑作の城

本曲輪を扇の要(かなめ)にたとえ、扇状に曲輪が広がっていることから、扇城とも言われています。

四、街道と密接に結びついた城

東海道が城域内を通過し、東西交通の要衝の地に築かれた城です。



推定復元図

(加藤理文監修/香川元太郎作画)

知ってる!? 城の用語

曲輪・郭(くるわ)

土塁や柵、堀などで囲まれた平坦な区域のこと。尾根や斜面などを造成して作ることもある。

土塁(どるい)

曲輪などを守るために土を突き固めて高く盛り上げた土手状のもの。

虎口(こぐち)

城や曲輪への出入口のこと。

丸馬出(まるうまだし)

武田流築城術の特徴で、虎口の前に設けられた三日月堀と曲輪がセットになった空間。防御するだけでなく、味方が出撃する場合の拠点にもなる。

縄張(なわばり)

堀や曲輪などの配置のこと。